

JDL レシートスキャナー モバイル 操作マニュアル

※ご利用の環境によっては、マニュアル内のリンクを利用できない場合があります。

- Japan Digital Laboratory®およびJDL®は、株式会社日本デジタル研究所の登録商標または商標です。JDLでは、商標の管理に注意を払っております。JDLの登録商標または商標の一覧は、下記のWebサイトにてご確認ください。
<http://www.jdl.co.jp/trademark/index.html>
- ScanSnap、ScanSnapロゴは、株式会社PFIの日本における登録商標または商標です。
- Apple、Appleのロゴ、iPhone、iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- Google™検索、Google™検索エンジン、Google Maps™ 地図サービスは、Google の商標です。「Google」、「Android」および「Android」ロゴ、「Google Play」は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- 本文中およびソフトウェアメッセージ内では、®マーク、™マークは省略しています。
- その他記載されている会社名・製品名・法人名は、各社・法人の登録商標もしくは商標、または当社の商標です。
- 本書の内容は予告なしに変更する場合があります。
- 本書の内容については万全を期して作成しておりますが、万一記載に誤りや不完全な点がありましたらご容赦ください。その場合、お手数ですが弊社までご連絡いただければ幸いです。
- 運用における結果の影響については責任を負いかねますので、留意の上運用し、結果の吟味を行ってくださるようお願いいたします。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複写・転載することは禁止されております。
©Japan Digital Laboratory

(2017/9/25)

原始証ひょうを読み取る前に

「JDL レシートスキャナー モバイル」(以降「レシートスキャナー」と呼びます)は、タブレットやスマートフォンの内蔵カメラや、ハンディスキャナーを使って、領収書やレシートなどを読み取り、画像データ(eレシート)にするアプリです。

eレシートは、Web POSTBOXを利用して、安全・確実に会計事務所に送ることができます。

◆困ったときは [Q&A登録番号：201412240829261455](#) をご覧ください。



読み取り装置

タブレットやスマートフォンの内蔵カメラ、またはWi-Fiハンディスキャナーを使用します。

内蔵カメラ

原始証ひょうを撮影して、eレシートとして登録できます。

Wi-Fiハンディスキャナー

iPadやiPhone、Androidタブレットをご利用の場合は、Wi-Fiハンディスキャナーで読み取ることもできます。あらかじめ設定が必要です。[「スキャナーの設定方法 \(Wi-Fi接続\)」マニュアル](#) をご確認ください。

◆ハンディスキャナーのご購入については、会計事務所にご相談ください。

メニュー



レシートスキ...

をタップして起動します。

◆iPadの画面で操作を説明しています。お使いの機種やOS等によって、画面表示が異なる箇所もありますが、操作方法は同じです。



アプリの情報やマニュアルが表示されます。

操作環境の設定を行います。

設定について



ONにすると、会計事務所へ送信したeレシートが、タブレットやスマートフォンから自動的に削除されます。

◆ONにしなくても、「eレシートを送信・管理する (P.11)」で削除できます。

ユーザーIDとパスワードを入力してWeb POSTBOXにアクセスする運用の場合に、ONにしてユーザーIDとパスワードを入力しておく、eレシートの送信時 (P.12) に入力を省略できます。

◆ONにする場合は、タブレット・スマートフォン本体のパスコードロックを有効にするなどセキュリティ対策することをおすすめします。

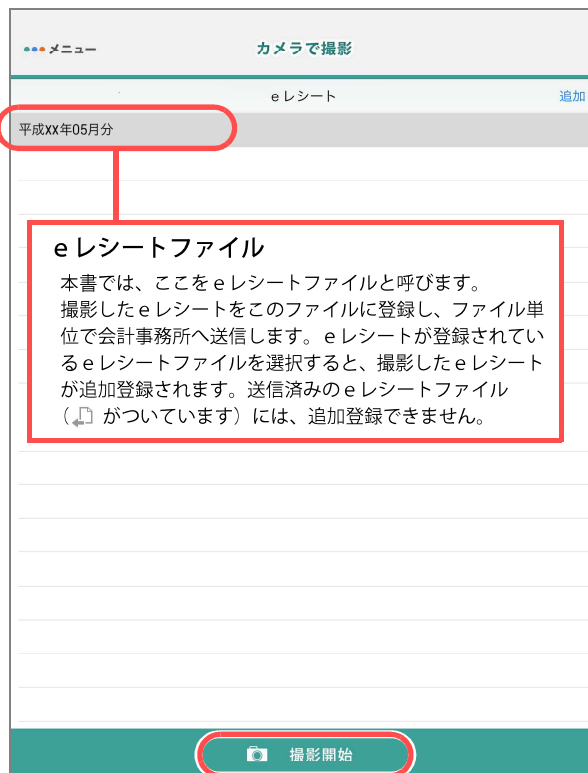
◆eレシートの送信時にユーザーIDとパスワードを入力する画面が表示されない場合は、この設定は必要ありません。

カメラでレシートを撮影する

タブレットやスマートフォンの内蔵カメラで原始証ひょうを撮影し、画像データをeレシートとして登録し、会計事務所に送信できます。

1  をタップして、メニュー（P.3）で「カメラでレシートを撮影する」をタップします。

2 eレシートファイルをタップして、**撮影開始** をタップします。



eレシートファイルを追加します。

eレシート名を指定してください

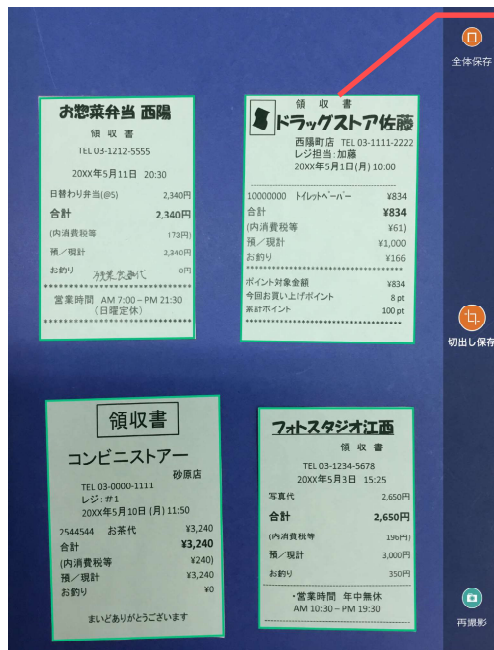
平成 年 月

実行時の年月が自動的に入力されますが、変更できます。読み取るレシートの年月と一致させてください。

◆年月欄右のテキスト欄にはこのファイルの説明などを全角10文字以内（半角でも10文字以内）で入力できます。一部の機種依存文字や記号、絵文字は入力できません。

3 カメラが起動しますので、レシートを撮影します。

- ・複数枚のレシートをまとめて撮影した場合は、撮影後に1枚ずつ切り出すことができます。切り出しやすくするため、濃い背景色で撮影してください。
- ・連続して撮影できます。
- ・異なる事業年度のレシートは混在させないでください。
- ・仕訳入力時に参照しやすくするため、文字がはっきり見えるように明るいとこで撮影してください。



レシートは自動認識されて、緑枠で囲まれます。

◆濃い色の台紙に載せて撮影すると、自動認識されやすくなります。

◆自動認識されない場合は、レシートをタップすると認識され緑枠が表示されます。

それでも認識されない場合は、ダブルタップするとオレンジ枠が表示されますので、手でレシートの範囲を指定してください。

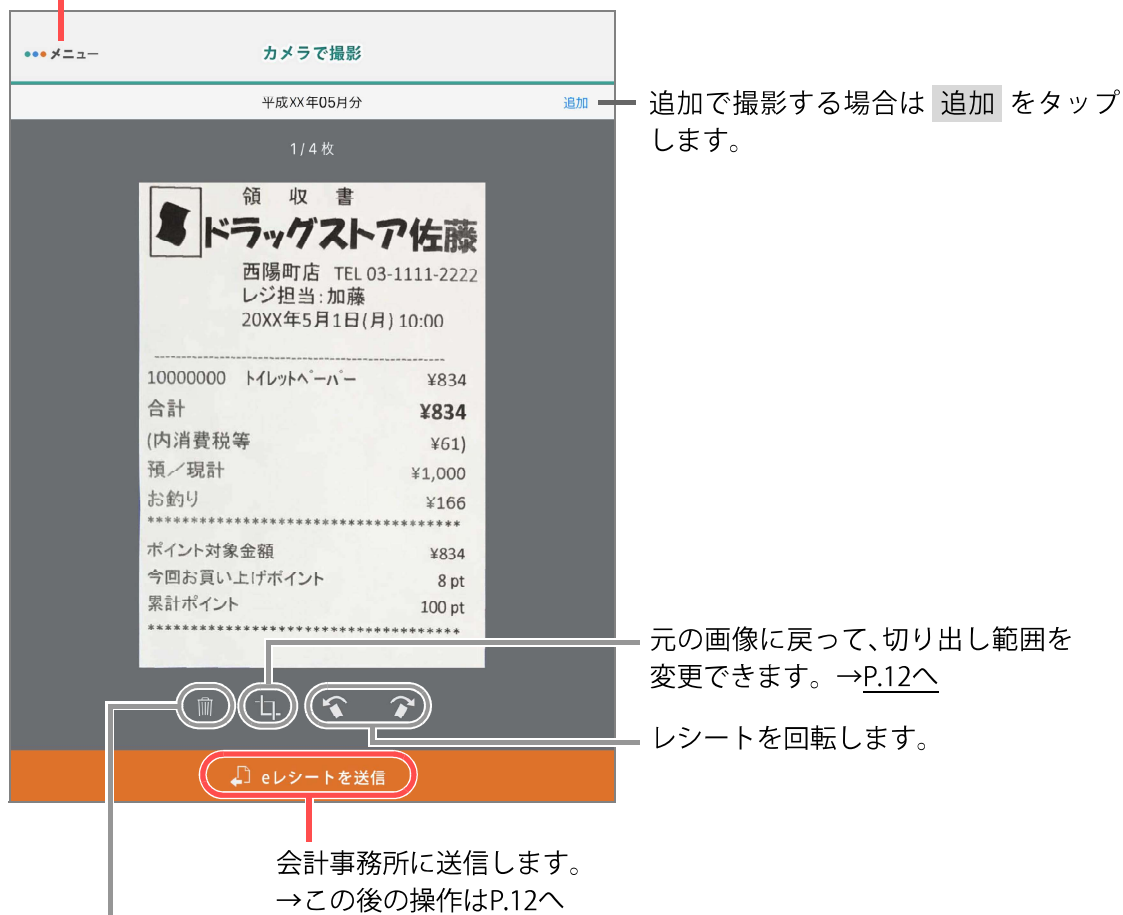
 (切出し保存) をタップすると、緑枠で囲まれた範囲がそれぞれ1つのeレシートデータとして登録されます。

 (全体保存) をタップして次の撮影に進むこともできます。
切り出しはあとで行うこともできます。

撮影が終わったら **撮影終了** をタップします。

4 レシート画像を確認して、送信するか、メニューに戻ります。

必要に応じてレシートの再撮影（削除して撮影）や回転、切り出しを行います。
送信しない場合は、メニューに戻ってください。



スキャナーでレシートを読み取る

iPadやiPhone、AndroidタブレットとWi-Fi接続したハンデイスキャナーで原始証ひょうを読み取って、e レシートとして登録したり、会計事務所に送信できます。

◆初めてハンデイスキャナーを接続する場合の設定方法は、[「スキャナーの設定方法 \(Wi-Fi接続\)」マニュアル](#) でご確認ください。

1 読み取る前に、ハンデイスキャナーとタブレットやスマートフォンをWi-Fi接続します。

ハンデイスキャナーの給紙カバー（原稿台）を開いて電源をONにし、背面にあるWi-FiスイッチをONにします。

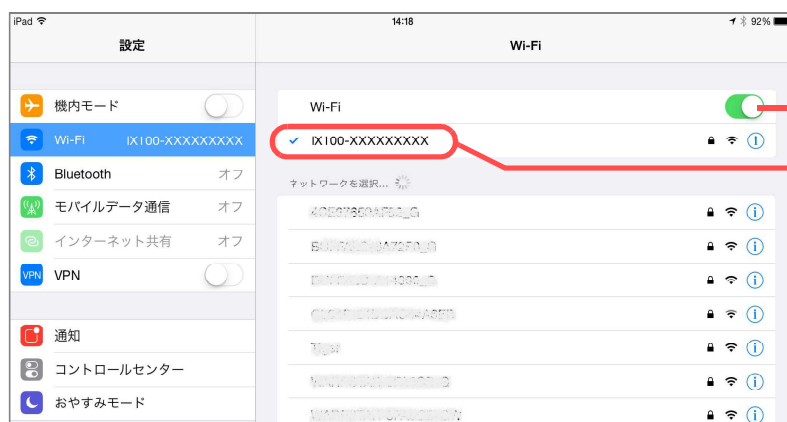
ハンデイスキャナー本体のWi-Fiランプ (📶) が緑色（または青色）に点灯している場合は、読み取りを開始できます。→P.8 3 へ

オレンジ色に点灯している場合は、ハンデイスキャナーとの接続を確認します。→P.7 2 へ

2 タブレットやスマートフォンで「設定」をタップし、「Wi-Fi」でハンデイスキャナーを選択します。

iPad・iPhoneの場合

「Wi-Fi」をオンにした状態で、ネットワークの一覧から、ハンデイスキャナーのネットワーク名（ハンデイスキャナー底面のシールの“SSID”（“iX100-”で始まる名称））をタップします。



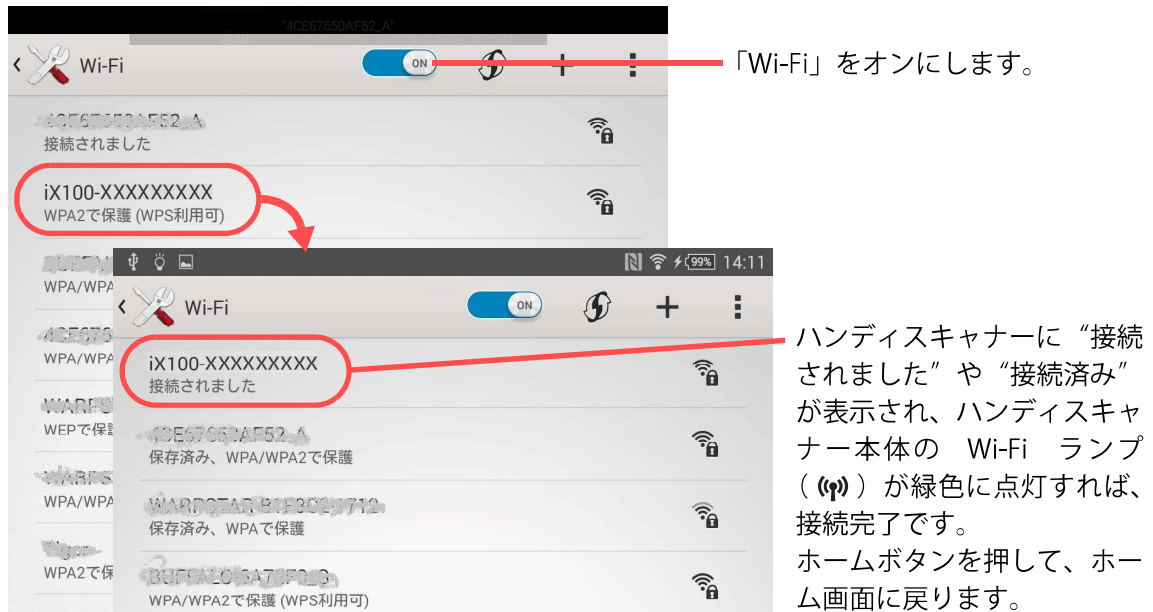
「Wi-Fi」をオンにします。

ハンデイスキャナーが表示され、ハンデイスキャナー本体のWi-Fi ランプ (📶) が緑色に点灯すれば、接続完了です。ホームボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

Androidタブレットの場合

「Wi-Fi」をオンにした状態で、「Wi-Fi」をタップします。

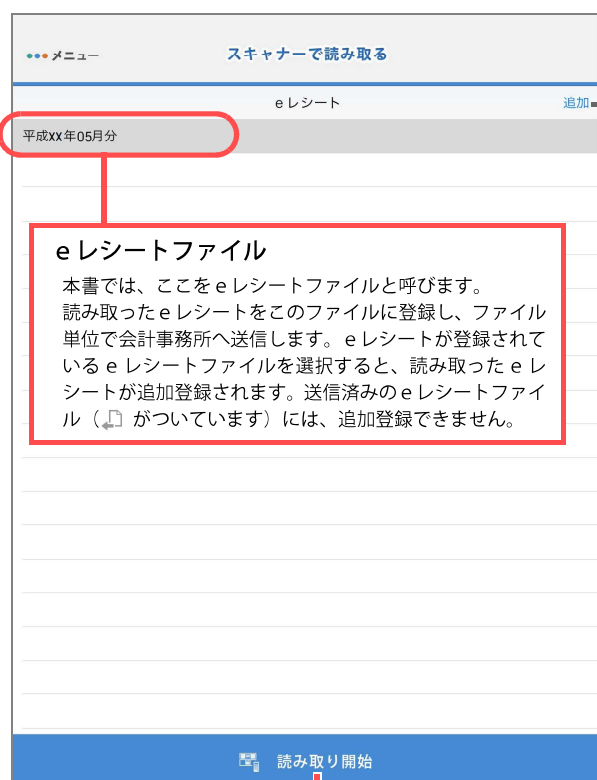
表示されたWi-Fiの一覧から、ハンディスキャナーのネットワーク名（ハンディスキャナー底面のシールの“SSID”（“iX100-”で始まる名称））をタップします。メッセージが表示された場合は **接続** をタップします。



- 3**  をタップして、メニュー（P.3）で「スキャナーでレシートを読み取る」をタップします。

初めて読み取りを行う場合は、ハンディスキャナーの接続方法をご案内する画面が表示されます。

4 eレシートファイルをタップします。



eレシートファイルを追加します。

eレシート名を指定してください	
平成	xx 年 05 月分
キャンセル	OK

実行時の年月が自動的に入力されますが、変更できます。読み取るレシートの年月と一致させてください。

- ◆年月欄右のテキスト欄にはこのファイルの説明などを全角10文字以内（半角でも10文字以内）で入力できます。一部の機種依存文字や記号、絵文字は入力できません。

5 ハンディスキャナーにレシートをセットして **読み取り開始** をタップします。

複数枚のレシートを連続して読み取れます。

異なる事業年度のレシートは混在させないでください。

読み取りが終わったら **終了** をタップします。

ハンディスキャナーの電源が自動的にOFFになってしまった場合

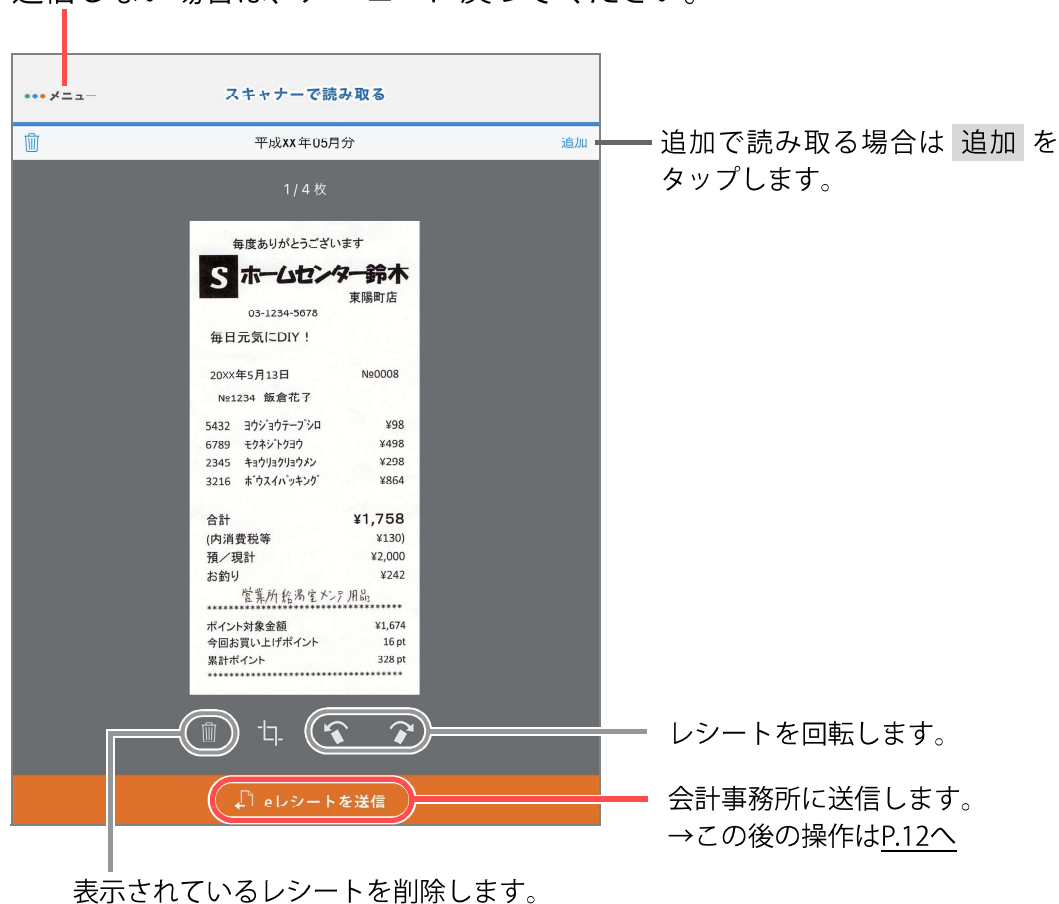
ハンディスキャナーの給紙カバー（原稿台）を一度閉じてから開けると、電源がONになり **Scan/Stop** ボタンが青色に点灯します。

この状態で、読み取りできます。

- ◆無線LANのアクセスポイントがあり、Wi-Fiの設定を行っていると、アクセスポイントに接続されてしまい、ハンディスキャナーと接続できない場合があります。この場合は、「設定」→「Wi-Fi」で、ハンディスキャナーを選択してください（操作方法は、[P.72](#) 参照）。読み取りが終わってもとのアクセスポイントへ接続したい場合は、ハンディスキャナーの給紙カバーを閉じて電源をOFFにしてください。

6 レシート画像を確認して、送信するか、メニューに戻ります。

必要に応じてレシートの回転や再読み取り（削除して読み取り）を行います。
送信しない場合は、メニューに戻ってください。



e レシートを送信・管理する

e レシートを確認して会計事務所に送信します。また、削除することもできます。

- 1  をタップして、メニュー (P.3) で「e レシートを送信・管理する」をタップします。

- 2 e レシートファイルをタップして選択し、目的の処理を行います。

メニューに
戻ります。

e レシートファイル
送信済みの場合は
が表示されます。

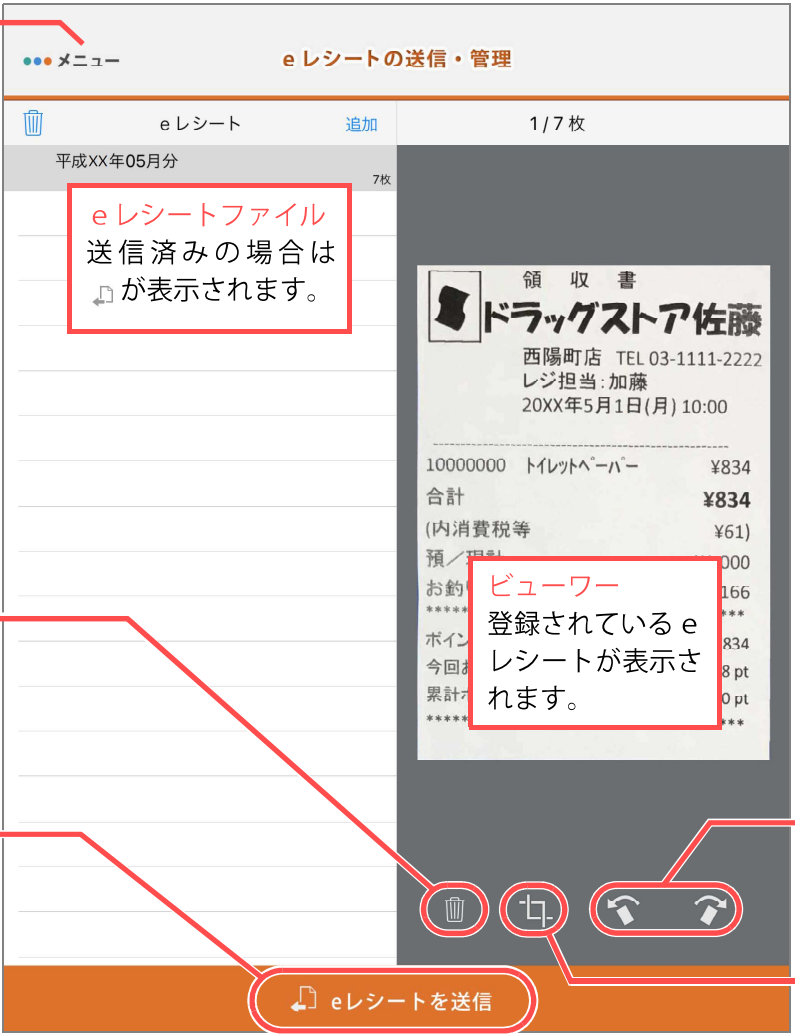
表示されている
e レシートを削
除します。

選択している
e レシートファ
イルを会計事務
所に送信しま
す。→P.12へ

ビューワー
登録されている e
レシートが表示さ
れます。

e レシートを回転
できます。

カメラで撮影した
e レシートを1枚
ずつ切り出しま
す。
→P.12へ



e レシートを送信

確認メッセージが表示されますので **送信** をタップします。

ユーザー IDとパスワードの入力画面が表示された場合は、Web POSTBOXのユーザー IDとパスワードを入力して **OK** をタップすると送信されます。

平成XX年05月分 e レシートを送信してよろしいですか	ユーザーID/パスワードを 入力してください
キャンセル 送信	ユーザーID パスワード キャンセル OK

◆メニュー (P.3) の  で、この画面が表示されないように設定できます。

送信済みのe レシートファイルには  が表示されます。

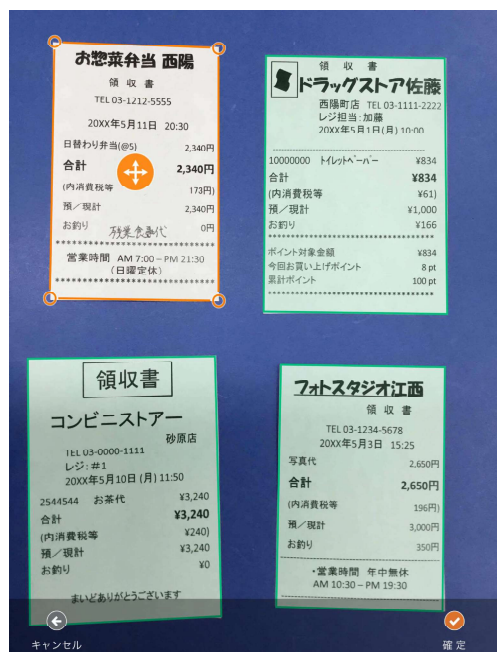
◆メニュー (P.3) の  で、送信済みのe レシートが自動削除されるように設定できます。

ハンディスキャナーを使用して送信できない場合

先にハンディスキャナーを電源OFFにして、インターネットに接続していることを確認してから送信してください。

e レシートの切り出し

複数枚まとめて撮影したレシートを1枚ずつ切り出したり、背景を取り除いてレシート部分だけを切り出すことができます。



レシートをタップすると認識され緑枠が表示されます。

認識されない場合や、範囲を変更する場合は、ダブルタップするとオレンジ枠が表示されますので、手で範囲を指定してください。

指定したら、オレンジ枠外をタップすると確定します。

◆オレンジ枠は、画面の外に追い出すと消えます。

 (確定) をタップすると、認識した範囲がそれぞれ1つのe レシートデータとして登録されます。